

---

# 銀色の恋人

吟色の鬼姫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

銀色の恋人

### 【Zコード】

Z5246BA

### 【作者名】

吟色の鬼姫

### 【あらすじ】

銀時の幼馴染みであり、彼女でもある鈴野舞花。舞花は真選組に勤めていて、周りには土方、沖田、山崎（？）とイケメンぞろい。

銀時は舞花を信頼してると言いつつもやっぱり心配。土方は、舞花を自分のものにしたいと近づいていく。沢山の人の気持ちがすれ違い少しづれつた物語。ええっと、少々キャラが壊れているかもしれません……。

初めて投稿します (\*^\_\_^\*)  
面白かったら言いなあ

土方さんファンの人はお引き取つてください。  
銀さんと土方で一人の女人を取り合つよつたる場面もあつたりする  
ので。

あと、銀さんのキャラが少し壊れてるかも……

それでもいいのなら……

では、恋の季節…春のある日からスタートです！

「つづけー！」

新八は、夜の薄暗い道を万事屋に向かつて歩いていた。

家にもつて帰るのを忘れて、お通ちやんの口を取りに帰つている  
のだった。

もうすぐで寺田屋につく。

つと、万事屋に続く階段の下に銀色の髪をした者が立つていて  
見えた。

誰なのかはすぐに分かる。

「このあたりで銀髪といえば、彼しかいない。」

「銀さん、何やつてんですか？」

「うわあおう！ああ、新八か。どうした……」

ビックリさせてやろうとひつそり後ろから近づいて話しかけると、思った以上に銀時は驚く。

そして……

「…………銀さん。後ろに一体誰がいるんですか？」

銀時は背中に誰か一人分のすき間を空けて、新八に見えないよう立つ。

「いや、別に……」

「バレバレですよ。だって足見えてますから。そんなガードしないで誰なのか見せてくださいよ」

新八はからかう。なかなか銀時をからかえる機会がないのだ。こういうときに楽しんでおかないと。しかし、なぜそんなに見せたくないのだろうか。

「もう良いよ。坂田君」

「あれ、今のは……ま、まさか、女人の人……？」

「でもよ……」

銀時は後ろを少し振り返る。

その後ろから、女人の人が出てきた。

新八の口はあんぐり……

「いつかはばれるはずだったのよ。仕方ないわ  
「な、な、何ですとお？」

現れたのは、桃色のラインの入った白い着物を着た品のある女人  
だつた。

黒くてきれいな髪を肩まで伸ばし、優しそうな瞳。  
銀時にはもつたいたいほどの美人だ。

「鈴野 舞花といいます。志村さんですね、坂田君から聞いてます。えつと…ビックリさせて『ごめんなさい。私、真選組勤務で、あそこ恋愛禁止だから…秘密にしてたんです。…………』『ごめんなさい』

舞花と名乗った女人はそつそつと肩をすくめる。  
新八は、勿論動搖。

「れ、恋愛つて…まさか、銀さんの…？」  
「交際してます……」

そ、そんな……

「ええええええええええええ…銀さんに彼女？！そんなバカな…」  
「静かに…声デカイ新八！」

銀時と舞花が焦る。  
しかし、新八は止まらない。

「聞いてませんよ、そんな設定！…するいですよ！主人公だからつ  
て」  
「だあかあらあ！俺たち以外誰も知らないの！…スタッフも監督もみ  
んな！」

「一人とも静かにいつー聞こえちゃうよー。」

「鈴野もなー。」

春の夜空に三人の声が響く。  
そこにもう一人……。

「うぬさこよ、近所迷惑考えなバカ共が  
「「「えつ」」」

振り返ると、お登勢が寝巻き姿で立っていた。

「その女、誰なんだい？」  
「「「」」」」」」

舞花の正体は、すぐばれることになった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5246ba/>

---

銀色の恋人

2012年1月14日16時53分発行